

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立越谷特別支援学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	グランドデザインを踏まえ学校として目指す方向が明快に示されている学校像である。児童生徒の実態や学校の現状に応じた適切なものであり、学校に寄せられる期待に十分応えるものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向が三つの柱として設定されている。目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき課題が明確かつ具体的に示されており、日々の教育活動の指針となっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学部等のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。学校全体の目標を踏まえ、分掌・学部等で検討される方策等を再び学校全体のシートへフィードバックして相互の連携を図るなど、学校自己評価の運営体制について工夫ができると更に良い。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校関係者評価などを基に、大会参加を目標にした部活動の活性化など、評価項目の達成に向けた新たな方策が策定されている。評価指標については、方策の達成状況が確認しにくいものがあるので、取組指標と成果指標をうまく組み合わせて分かりやすいものを設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が教職員一人一人の能力を生かして、学校の現状を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長のリーダーシップが的確に発揮され、課題の解決の方向が示されている。目標の達成に向けて更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めている。学校関係者の意見やアンケートの結果等を丁寧に分析して、達成状況や課題を把握し、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			